

地域安全学会

2014年度第4回理事会 議事録

日 時：2014年11月7日（土） 17:00～18:30

場 所：静岡県地震防災センター（静岡市葵区駒形通り5-9-1）

出席者：立木茂雄、糸井川栄一、池田浩敬、市古太郎、岩田孝仁、梅本通孝、岡田成幸、柄谷友香、重川希志依、庄司学、田中聡、秦康範、松岡昌志、宮野道雄、加藤孝明、牧紀男

委任状：目黒 公郎、鍛田泰子、越村俊一、西川智、村尾修、森伸一郎、矢代晴実、大西一嘉、村上ひとみ

欠席：大原美保

事務局：竹本加良子、上木美貴恵

配布資料：26-4-1 2014年度第4回理事会議事次第（案）（立木）
 26-4-2 2014年度第3回理事会議事録案（立木）
 26-4-3 会員数、会費納入状況
 26-4-4 ニュースレター（No.90,2015年2月中旬）の「内容と担当者」（案）
 26-4-5 企画研究小委員会規程

議題：

1. 前回議事録の確認（立木）

資料 26-4-2 の第3回理事会議事録（案）について、下記2点の修正点以外は、原案通り承認された。

- ・タイトルを「議事次第」→「議事録」に修正
- ・「8. 広報委員会関係」の本文中にある「電子ジャーナル委員会 松岡副委員長」→「電子ジャーナル部会 松岡副部会長」に修正

2. 会勢・会員管理関係（竹本・上木）

(1) 会員数、未納者数の報告

2014/10/31(金)時点での2014年度の会員数・会費納入状況は以下の通りである。

会員種別	会員数	内、新規 会員数	会費納入者数	会費未納者数	未納の割合
賛助会員(※)	1	1	1	0	0.0%
正会員	593	32	436	157	26.5%
学生会員	107	31	57	50	46.7%
総数	701	64	494	207	29.5%
割合	100.0%		70.5%	29.5%	

※5/30 に株式会社パスコ様が賛助会員としてご入会

【回収済会費】

賛助会員（10万円）×1社＋正会員（5,000円）×436人＋学生会員（2,000円）×57人＝2,394,000円

【未収会費】

賛助会員（10万円）×0社＋正会員（5,000円）×157人＋学生会員（2,000円）×50人＝885,000円

2014/10/31(金)時点での2013年度の会員数・会費納入状況は以下の通りである。

会員種別	会員数(※)	会費納入者数	会費未納者数	未納の割合
正会員	565	462	94	16.6%
学生会員	88	53	35	39.8%
総数	653	515	129	19.8%
割合	100.0%	78.9%	19.8%	

※2014/3/31 時点の会員数のため、4月以降の退会者も含まれています。

【回収済会費】

賛助会員(10万円)×0社+正会員(5,000円)×462人+学生会員(2,000円)×53人=2,416,000円

【未収会費】

賛助会員(10万円)×0社+正会員(5,000円)×94人+学生会員(2,000円)×35人=540,000円

(2)未納者への対応

2014/10/26 に年会費未納者(232人)に対し督促メールを送信したところ、2014/10/31 時点で29人から入金があった。

年会費の納入率をさらに上げるため、理事から未納者に対して個別に年会費納入を依頼する。そのための資料として、事務局は、2014年度、2013年度どちらか片方でも未納の会員のリストを作成し、11月8日の午前中に事務局から立木会長にお送りする。

3. 選挙管理委員会関係(宮野)

11/1~12/1 まで理事の立候補の受付を行っている。立候補を待って、選挙を行うかどうか決定する。

4. 東日本大震災連続ワークショップ2014および2015について(糸井川)

論文数が20本と減少傾向にあるが、5年間を1つの区切りとして、2016年までは続けることとする。

村尾先生と杉安先生の負担は、学会でサポートすることとする。

開催時期、開催地(宮城県内)、被災地で開催する意義等は特別委員会にて今後検討する。また、企画についても、例えばオーガナイズドセッションと研究発表を合わせるなど、特別委員会より企画案をご提案いただく。

2014年度の開催地となった宮古市長から礼状が届いたため、糸井川副会長から返礼する。

5. 国際交流委員会(立木)

(1) 第3回 国際都市防災会議(ICUDR3)

9/28~10/1の期間、米国コロラド州ボルダー市、ボルドラドホテルにて、第3回 国際都市防災会議をDURIと地域安全学会で共催した。

第4回はニュージーランドが主催することが決まっているが、2016年(第5回)は、クライストチャーチでの開催が決定した。

11月中に国際交流基金日米交流センター(CGP)に報告を兼ねてお礼にお伺いする。その際に、国際都市防災会議を定期的に開催する方策を相談する。

今後、地域安全学会としてICDURをバックアップしていくことについて承認を得た。

(2) 第2回 アジア都市防災会議 (ACUDR2)

11月20日(木)・21日(金)に、台湾にて開催されるACUDR2に、立木理事、牧理事、森理事が参加される。

6. 学術委員会関係 (田中)

今年度の論文集の制作費について、去年は約100万円かかっていたが、今年は約80万円だったため、20万円減額できた。減額分の20万円について、J-Stageへの過去論文アップロード作業の外部発注に使用することについて承認を得た。

なお、J-Stageに過去論文を多数掲載することで実績が積み、それによりJ-Stageを使った論文投稿システムが利用可能となる。

7. 表彰委員会関係 (池田)

秋季研究発表会の懇親会にて、春季研究発表会の優秀発表賞の授与式を行う。授賞者が授与式を欠席された場合は、賞状を郵送する。

ポスター発表の技術賞について、11/8の午前中に会場受付またはポスター発表会場で登録の受付を行う。

ポスターセッションの希望者が21件あった。評価者については、学術委員以外の理事である、糸井川理事、宮野理事、立木理事、岡田理事、重川理事、庄司理事の6名に評価をお願いすることとなった。

8. 防災学協会連合組織 (加藤)

11月29日に開催される学術フォーラムにて、30学会共同で発表する声明(英語)に立木理事、前会長の宮野理事、糸井川理事、加藤理事の名前が掲載される。

2月27日に第20回日本集団災害医学会総会・学術総会が開催される。地域安全学会が担当するテーマは「災害拠点病院とまちづくり」に変更になり、加藤理事と大原理事にご参加いただくことになった。

9. 広報委員会関係

(1) ニューズレター (秦)

ニューズレターNo.90の内容について、下記の点が修正・確認となった。

- 「7. 若手研究者による第3回都市防災会議派遣報告(仮)」の前に国際都市防災会議の報告を掲載し、最終的には、学会HPにも掲載する。原稿作成の担当は牧理事とする。
- 「5. 2014年度地域安全学会役員選挙の結果報告」を「5. 2015年度地域安全学会役員選挙の立候補届け出状況」に変更する。
- 「4. 第34回地域安全学会研究発表会(春季)における優秀発表賞」については、大西理事に授賞者名等を確認する。

(2) 学会HP改修 (庄司)

学会HPの不具合を改修する。費用は15万円程度かかる。その他に修正が必要な事項が

あれば庄司理事に連絡する。

10. 企画研究小委員会（梅本）

企画研究小委員会規定（案）として、第3条に下記の項を追加することが梅本理事から提出され、理事会にて承認された。

2. 前項の規定にかかわらず、研究運営委員会は、本会経常予算の措置を要しない企画研究テーマに限り、学会員からの提案申請があれば、随時これを受理する。

11. 2014年度秋季研究発表会（池田）

報告事項無し。

12. 2015年度春季研究発表会（市古）

市古理事より、春季研究発表会の開催地として伊豆大島での開催が提案され、理事会にて承認された。開催日程は今後検討する。

また、特別委員として中林先生が承認された。

13. その他

- 2015年の秋季研究発表会の開催時期については、11月13・14日で決定した。
- 地域安全学会の設立が1986年12月のため、2016年に設立30周年を迎える。
- 第3回国連防災世界会議での地域安全学会・台湾防災学会・韓国危機管理学会共催の会場について、3月18日に確保できた。主催者負担金に関して、当初予算に予定がなかったため、国際交流部門で赤処理とする。
- 学術フォーラムの共催費3万円については、事務局総務部門の交際費として処理する。理事会審議事項ではないため、次回理事会で事務局より報告する。

○ 次回理事会 1/24（土）東京（同志社大学東京オフィス）（時間は調整後連絡する）

代表理事 立木 茂雄



監事 山崎 文雄

